



ようちび ぶんかさい



今年度は、初めてレインボーホールで学年別に劇発表を行いました。11月25日(木)には幼1と幼2の校内発表、26日(金)には幼3の校内発表、そして27日(土)には保護者への発表を行いました。楽しくかわいい幼1の劇、役になりきって演じた幼2の劇、チームワークよく難しいフォーメーションや長いセリフによる創作ストーリーを演じきった幼3の劇と、学年毎の成長が感じられる見応えたっぷりの文化祭となりました。

幼1りす組の劇「3びきのこぶた」



はじめは自分のやりたい役になって何度も劇ごっこを楽しんでいた子供たち。他の学年の友達やお家の人が見に来ることが分かると、オオカミはよりオオカミらしく、子ぶたはより子ぶたらしい動きを意識した劇ごっこに変わってきました。子供たちが一番楽しんでいたのは、わらの家や木の家が吹き飛び、子ぶたを追いかけてりオオカミに追いかけられたりする場面です。



自由活動の中で道具の色塗りをしたりするなど、本番も含めて劇ごっこの面白さを体験した文化祭でした。



幼2ぱんだ組とうさぎ組の劇「ぼんたのじどうはんぱいき」



あらすじは「ぼんたの自動販売機」ですが、登場人物や欲しいもの、そしてセリフは幼2の子供たちが話し合っただけのオリジナルです。登場人物は「らいおん、うさぎ、さる、おおかみ」そして欲しいものは「かっこいい刀、お花、ドレス」です。練習を重ねることで、立ち位置や動き、体の向きも意識しながら、分かり易い手話や音声でセリフを表現できるようになりました。

自動販売機や木などの道具も、制作の時間に塗ったり描いたりして、幼2みんなで力を合わせて作り上げた心温まる素敵な劇になりました。



幼3らいおん組の劇「にじにんじゃ」



幼3は日頃より『忍者かげまる』を師と仰ぎ、修行に励んでいます。文化祭に際して、またもや忍者かげまるから巻物が届きます。「黒忍者は巻物を守れ！」一方「色忍者は巻物を盗め！」と…。色忍者は“信号機・花・新幹線・鳥”への変わり身の術で巻物を盗もうとし、黒忍者は確かな目と賢さでそれらを見抜いていきます。

ストーリーもセリフも幼3の子供たちが考えた創作劇であり、道具も自分たちで作りました。劇の練習自体が忍者の修行であり、立派な忍者になるべく演技の練習にも熱が入ります。

最後は巻物を手に入れ、みんなで虹に変身して「敵から城を守れ！」の修行を立派に遂行できました。さすが見応え十分な幼3の劇でした。

